

管 理 要 領 (作成例)

水質汚濁防止法施行規則第8条の7に基づき、下記施設について次のとおり管理要領を定める。

施設の種類 (該当に○印)		有害物質使用特定施設・ 有害物質貯蔵指定施設			
施設名称等		製品タンク (No.1、No.4、No.8)			
有害物質を含む水	項目	NO ₃ 、F			
	性状	60%、酸性液体、腐食作用あり			
使用の方法に関する基準の概要 (規則第8条の7)		(イ) 受入れ、移替え及び分配等の扱う作業に関する事項			
		<ul style="list-style-type: none"> ・飛散、流出、地下へ浸透しない方法であること 			
		(ロ) 補給状況および施設の作動状況に関する事項			
		<ul style="list-style-type: none"> ・状況の確認 ・その他、適正運転のための必要な措置 			
		(ハ) 漏えい時における対処方法に関する事項			
		<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに漏えい防止するための措置 ・回収、再利用、又は適正な処理 			
確認事項	状況	規則第8条の7に基づく施設に関する作業 ※有無は該当するものに○をつけること			
	作業前 (施設使用前)	無	作業手順書等*の有無 (有の場合は次欄を省略できる) ・施設や付帯設備からの漏えいの確認すること ・製品の充填時に漏えいしないよう、バットを設置すること ・計量器からの充填量と製品容器の容量の合致を確認する		有
	作業中 (施設使用中)	無	作業手順書等*の有無 (有の場合は次欄を省略できる) ・施設や付帯設備からの異音があれば作業停止と漏えいを確認する ・製品 (ポリ容器) の充填作業時は、作業場所から離れない ・ ・		有
	作業終了 (施設使用后)	無	作業手順書等*の有無 (有の場合は次欄を省略できる) ・施設や付帯設備からの漏えいを確認する ・充填ホース口の先端へ栓もしくは、下部へバットを設置する ・作業により付着した有害物質は、指定場所で洗浄・除去する ・使用部品等は、作業前の場所へ整頓する		有
	その他	無	作業手順書等*の有無 (有の場合は次欄を省略できる) ・漏えいした水を回収するポンプやマットなどの設置確認 ・廃液発生時の処分や処理の方法の確認		有
担当者	作業実施者	製造2係 ○○太郎	緊急連絡先	本社の環境部署	内線○○○番
	作業監督者	製造課長 □□花子		大阪市建設局	06-○○○○-△△△△
	施設管理者	工場長 ○○次郎		大阪市消防局	06-○○○○-△△△△
				□□警察署	06-○○○○-△△△△
定期点検	点検の頻度や方法		点検要領の有無 (有の場合は次欄を省略できる)		
	無	方 法	施設の破損等の状況や漏えいの痕跡を目視確認する		
		頻度 (○印)	(1ヶ月・3ヶ月・ 6ヶ月 ・1年) に1回以上		
※点検要領を別途定めた場合省略できる		担 当 者	製造2係 ○○太郎		
備 考		別添 (作業手順書・点検要領) を参照のこと			

*ISO等に基づき定めた手順書や操業系統図へ「漏えいへの対処方法」に関する記載があること。